



&lt;3&gt;

&lt;2&gt;

[写真1・4] 寝室に適した色彩の第一候補は、ラベンダーなどの紫色系統です。使用者の人によって色彩の濃淡を考慮し、その人が居心地良く感じる空間デザインにすることが大切です。ヘッドボード付きのベッドは頭上の氣の流れを安定させ、良い睡眠をとるサポートをしてくれます。また左右対称のものを見ると、脳はバランスの良い整ったイメージを連想し、安心感や安定感をもたらします。そこで、窓の両サイドに照明器具を取り付けたり、絵を飾ったりして、シンメトリー(左右対称)なデザインにすると良いでしょう。[写真2・3] 子供の寝室には、淡い色彩のパステルカラーや温もりを感じられる暖色系、ホルモンバランスを整えてくれるピンク色が適しています。なにより子供自身が好む色を採用することで、安心感を与えてくれる空間にすることが可能で。ヘッドボードと同様に、天蓋(ベッド周りのレース生地)を取りつけることでも氣の流れを安定させることができます。[写真5] 良い睡眠にとって冷えは大敵です。写真の寝室では、温もりを感じさせてくれるブラウン系の色彩を基調に、空間が暗いイメージになるのを防ぐ為、頭上の壁1面に明るいベージュの壁紙を採用しています。床や壁などと家具と同じ系統の色彩でまとめる場合、それぞれに濃淡をつけることで、氣の流れの良い空間デザインにすることができます。



&lt;5&gt;

&lt;4&gt;



&lt;1&gt;

# Feng-Shui Gallery

special edition vol. 75

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『空間ごとに考える色彩の働き』 ～寝室編～

深い睡眠・安眠をもたらす寝室は  
心身の興奮を抑え、安心感を感じられる色彩を選定し  
ヘッドボードや天蓋などのデザインを工夫すると良いでしょう

寝室空間で気をつけるポイントは、より良い睡眠を得られるような空間に  
デザインされているかどうかです。

床・壁・天井などの「色彩」と、家具や照明などの「デザイン」を寝室に適したものにすることで  
心身ともに休まる、上質な寝室空間を構成することができます。